

2027 年塑性加工春季講演会 講演募集

開催日：2027年3月17日(水)～3月19日(金)
 会場：日本大学 駿河台キャンパス
 テーマセッション講演申込締切：2026年10月30日(金)
 一般講演申込締切：2026年11月6日(金)
 講演論文集原稿締切：2027年1月13日(水) 14時まで

共催：日本機械学会, 日本塑性加工学会 (幹事学会)
 協賛：軽金属学会, 高分子学会, 精密工学会, 日本金属学会, 日本トライボロジー学会, 日本材料学会, 日本複合材料学会, 日本レオロジー学会, 日本銅学会, 日本鉄鋼協会, プラスチック成形加工学会, 溶接学会, 型技術協会, 日本合成樹脂技術協会, 粉体粉末冶金協会, 日本鍛圧機械工業会
 後援：日刊工業新聞社

●講演申込資格

講演発表をする方は当学会あるいは共催学会の個人会員である必要があります。

●講演申込方法

学会のホームページ (<http://www.jstp.or.jp>) の【講演申込みのページ】より申し込んでください。

- 講演申込には、会員番号・パスワードが必要です。
- 会員番号・パスワード発行までにお時間がかかりますので、**入会申込みは10月19日までお願いします。** また、共催学協会会員には今回限り有効な会員番号とパスワードを発行します。

ホームページでの申込みが困難な方は、学会事務局まで電話 (03-3435-8301) でお問合せください。

●講演申込上の注意

- 未発表かつオリジナルな内容に限りします。
- 講演者は講演申込時に共催学協会の個人会員に限りします。連名者の資格はその限りではなく、連名者数 (除く講演者) は6名までとします。
- 講演申込締切後の講演取消はできません。また、講演申込締切後の題目、講演者、連名者の変更はできません。**
- 講演論文集の原稿の著作権は日本塑性加工学会に譲渡していただきます。なお、著作者自身による原稿利用の権利は留保いたします。
- 講演分類は右記の表より1つずつ選んだ組合せで表示します。
- 講演申込み後、受付確認メールを返信します。1時間以内に受付確認メールが届かない場合は申込が登録されていない可能性があるため早急に学会事務局まで電話でご連絡ください。
- 希望講演日に関しては、プログラム編成上、ご要望にお応えできないことを予めご了承ください。

●原稿の提出

講演論文集の原稿枚数はA4用紙2枚です。原稿はPDFで提出していただきます。原稿の執筆方法はホームページをご参照ください。アブストラクトの公開は予定しておりません。

●特別原稿編集作業費

講演論文集原稿締切後に原稿を提出された方および原稿を再投稿された方には、特別原稿編集作業費 20,500 円 (消費税 10% 込) を請求いたします。また、**1月20日14時まで**に原稿が入手できなかった講演は取消とさせていただきます。更に 20,500 円 (消費税 10% 込) を請求いたします。

| | |
|-----------------------|----------------|
| 1月13日14時以降～1月20日14時まで | 20,500円 |
| 1月20日14時以降 | 講演取消および20,500円 |

●参加登録

講演会に参加する方 (講演者、連名者、聴講者) は参加登録が必要です。早期割引参加登録手続きは1月下旬頃にホームページにて公開予定です。

●優秀論文講演奨励賞の申込

35歳以下の若手発表者による優秀な講演発表に対して、優秀論文講演奨励賞を贈ります。35歳以下の会員で審査を希望される方は、講演申込時に優秀論文講演奨励賞の審査の希望を選択して、年齢も必ず選択してください。申請がない場合は、審査対象外とさせていただきます。なお、過去に本賞を受賞された方は、受賞後、直近4回の講演会においては応募資格を有しません。

表1 素材形態別分類

表2 加工法別分類

| 素材形態 | 加工法 | |
|-----------------------|----------------|---|
| 板 材 A | 圧延 | a |
| | 鍛造 | b |
| | 転造 | c |
| | 押出し | d |
| | 引抜き | e |
| | ロール成形 | f |
| | チューブフォーミング | g |
| | スピニング | h |
| | せん断 | i |
| | 曲げ | j |
| 塊状物 B (線・棒・型材等) | 板材成形 | k |
| | 矯正 | l |
| | 高エネルギー・高速加工 | m |
| 管 材 C | 接合 | n |
| | 積層造形 | o |
| | 粉末成形 | p |
| | 射出成形 | q |
| 不定形材 D (粉末・溶湯・木材等) | 半溶融・半凝固・溶湯 | r |
| | インクリメンタルフォーミング | s |
| | サーボ応用加工 | t |
| | マイクロフォーミング | u |
| | 超音波応用加工 | v |
| | ドライ加工 | w |
| | 温・熱間プレス成形 | x |
| | 表面改質 | y |
| | その他 | z |

表3 要素技術別分類

| | | |
|-----------|--------------------|----|
| 材料試験 | 1 | |
| 塑性理論 | 2 | |
| 解析技術 | 基礎理論, 解析モデル | 3 |
| | 数値シミュレーション | 4 |
| | 実験シミュレーション | 5 |
| 材 料 | 鉄鋼材料 | 6 |
| | 非鉄金属材料 | 7 |
| | 複合材料・CFRP | 8 |
| | 超塑性材料 | 9 |
| | プラスチック | 10 |
| | 粉末材料 | 11 |
| | セラミック | 12 |
| | ポーラス | 13 |
| | 木材 | 14 |
| | 新素材・その他 | 15 |
| 加工特性 | 変形特性・負荷特性 | 16 |
| | 加工限界 | 17 |
| | 加工精度 | 18 |
| | 材質改善 | 19 |
| | その他 | 20 |
| 工具, 金型 | 金型設計, CAD/CAM | 21 |
| | 工具材料, 表面処理 | 22 |
| | その他 | 23 |
| 加工・生産システム | 計測, 制御 | 24 |
| | 加工機械, 生産システム | 25 |
| | 知能化技術 (AI, エキスパート) | 26 |
| | その他 | 27 |
| トライボロジー | 28 | |
| 環境・省エネルギー | 29 | |
| その他 | 30 | |

2027年塑性加工春季講演会 「テーマセッション」のご案内

2027年塑性加工春季講演会（2027年3月17日（水）～19日（金）日本大学 駿河台キャンパス）において、下記の3件のテーマセッションを開催いたします。奮ってご応募ください。ご不明の点につきましては、各セッションの問合せ先までお問合せください。

テーマセッションの特徴は以下の通りです。

- (1) 一般講演とは区別してプログラムを組みます。
- (2) 特定のテーマに関する講演を広く公募します。
- (3) 公募論文の取捨選択や討論時間などの運営方法はオーガナイザーに一任します。（採択されなかった場合には一般講演に回っていただきますのでご了承ください。）

記

申込方法 学会のホームページを利用したオンライン申込をご利用ください。

講演会案内ページ <http://www.jstp.jp/event/meeting/>

申込締切日 2026年10月30日（金）

テーマセッション1 「押出し加工の実用展開と技術革新 — 材料・プロセス・解析の融合」

オーガナイザー：星野 倫彦（日本大学）、大竹 出（日本大学）、船塚 達也（富山大学）

協力：押出し加工分科会 [主査：星野 倫彦]

問合せ先：船塚 達也（富山大学）、E-mail：funazuka@eng.u-toyama.ac.jp

本セッションでは、押出し加工の実用展開に焦点を当て、材料開発からプロセス設計、解析技術に至るまでの幅広い取り組みを議論する。特に、軽量化やリサイクル材の活用を含む材料多様化への対応や、製造現場における課題解決、解析技術の活用事例など、産業応用を志向した研究・技術報告を歓迎する。産学連携のもと、押出し加工技術のさらなる高度化と展開を目指す。

テーマセッション2 「棒・線・管材の引抜き加工および関連技術の最新動向」

オーガナイザー：上路 林太郎（物質・材料研究機構）、権藤 詩織（早稲田大学）、増田 智一（㈱神戸製鋼所）

協力：伸線技術分科会 [主査：新堂 陽介]

問合せ先：増田 智一（㈱神戸製鋼所）、Email：masuda.tomokazu@kobelco.com

本セッションでは、棒・線・管材の引抜き加工に関わる材料、設備、工具、潤滑技術などに焦点を当てる。引抜き加工およびその関連技術は、従来より多様な開発が進められ、産業の発展に大きく寄与してきた。今日においても、その重要性は依然として高い。当日は、各分野に精通した研究者・技術者より、引抜き加工および関連技術の最新動向についてご講演いただき、今後の技術発展に向けた活発な議論の場とする。

テーマセッション3 「金型・工具の長寿命化と高精度化の両立を目指して」

オーガナイザー：白鳥 智美（富山大学）、相澤 龍彦（表面機能デザイン研究所）、淵脇 健二（秦野精密）

協力：ナノマイクロ加工分科会・金型分科会

問合せ先：白鳥 智美（富山大学）、E-mail：shira@eng.u-toyama.ac.jp

塑性加工用工具には荷重が加わり、被加工材との摩擦から凝着や摩耗が生じます。昨今の社会情勢から工具費が増大し、工具素材の入手性が変化するなど、工具を取り巻く環境が変化しています。本テーマセッションでは、金型や工具の長寿命化と高精度化に向けた新たな取組みを広く募集します。次世代の塑性加工用金型と工具の方向性を議論する機会として投稿をお待ちしております。

「優秀論文講演奨励賞」について

講演会運営委員会では、塑性加工講演会の活性化と優秀な若手会員の活躍を期待して、新進の研究者・技術者の優秀な論文講演を表彰しております。本賞審査の対象となる方は、講演発表時に満35才以下の会員です。35歳以下の講演者で審査を希望される方は、申込時に希望の有無および年齢を選択してください。受賞件数は分野を偏らないように配慮して、10件程度とします。ただし、過去に本賞を受賞された方は、受賞後、直近4回の講演会においては応募資格を有しません。審査は座長を含む審査委員による論文内容、発表方法、質疑応答に基づいて、総合的に評価します。優秀論文講演奨励賞の受賞者名及び講演論文名等は、会報誌「ぷらすとす」にて公表するとともに、賞状と副賞を贈り顕彰します。